

古文を味わう

〔知識・技能〕

名前

やってみよう

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

仁和寺にんなじにある法師ほふし、年寄るまで、石清水いししみづを
 拝まざりければ、心こころうくおぼえて、ある時思
 ひ立ちて、ただひとり、徒歩もつより詣もつでけり。
 * 極楽寺・高良かうらなどを拝かみてかかばかりと心得こころえて
 帰りにけり。さて、かたへの人にあひて、年
 ごろ思ひつること、果たしはべりぬ。聞きし
 にも過ぎて、たふとくこそおはしけれ。そも、
 参りたる人ごとに山へ登りしは、何事かあり
 けん。ゆかしかりしかど、神へ参るこそ本意
 なれと思ひて、山までは見ずとそ言ひける。
 * 少しのことにも、先達はあらまほしきこと
 なり。
 注 (一) 徒然草つれづれ草より

*仁和寺にある法師＝仁和寺にいたある法師
 *石清水＝石清水八幡宮のこと、京都府八幡
 市男山の山上にある
 *心うくおぼえて＝情けなく思つて
 *極楽寺・高良＝石清水八幡宮の付属の寺社
 で、隣りあつており、ともに男山のふも
 とにあつた
 *かばかり＝これだけ
 *かたへの人にあひて＝仲間の僧に向かつて
 *そも＝それにしても
 *本意＝本来の目的
 *先達＝指導者、案内者
 *あらまほしき＝あつてほしい

一 「拜みて」の主語は、だれですか。
 次のア～ウの中から一つ選んで記
 号で答えなさい。

- ア 仁和寺にある法師
- イ かたへの人
- ウ 先達

二 「言ひける」の歴史的仮名づかい
 を現代仮名づかいに直し、すべて
 ひらがなで書きなさい。

三 「かばかり」とは、具体的にはど
 のようなことを言っているのだ
 ですか。次の説明の空欄(らん)に当
 てはまる適切な言葉を書きなさい。

 を

石清水八幡宮だと思い、これだけ
 がすべてだと思つて帰つてきた。

四 この文章の中に、仲間の僧に向かっ
 て言つた言葉(ことば)が付くところ(ところ)
 があります。その始めと終わりの三
 文字を書きなさい。

五 筆者の意見が書かれている一文を書
 き抜きなさい。